

社会思想史学会

第 34 回大会

大会プログラム・報告集

2009 年 10 月 31 日・11 月 1 日

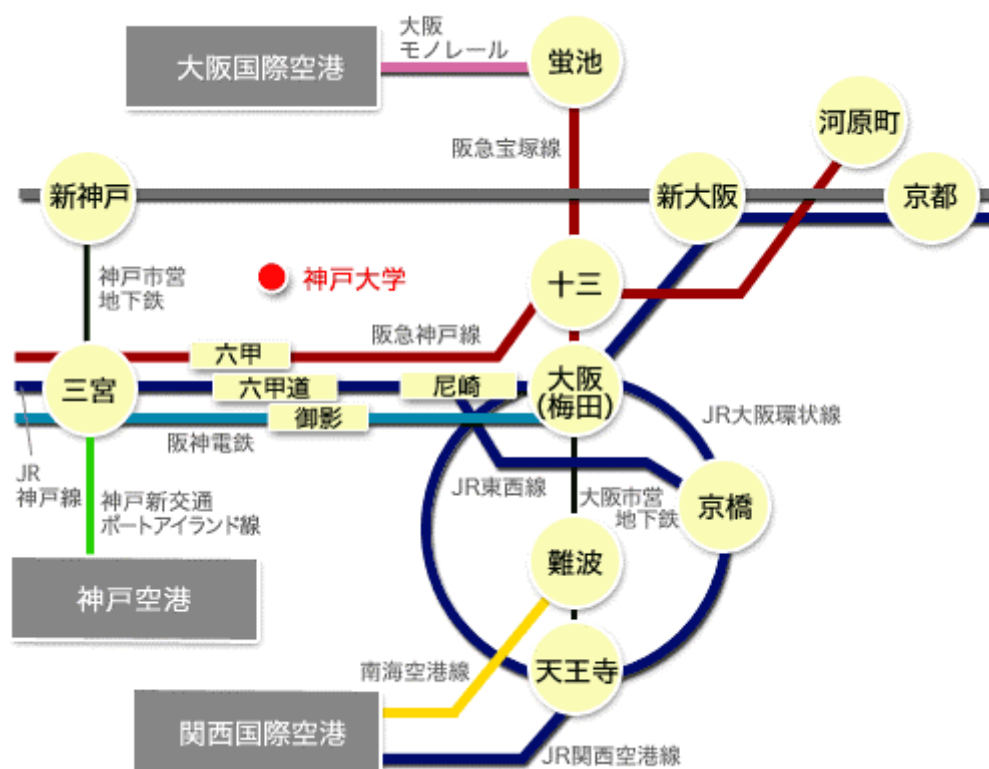
会場：神戸大学 国際文化学部キャンパス

大会会場

〒657-8501

神戸市灘区鶴甲1丁目2-1

神戸大学国際文化学部キャンパス



交通手段

徒歩

阪急「六甲」駅から約15～20分

バス

阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅より

神戸市バス16系統「六甲ケーブル下行き」乗車

「神大国際文化学部前」下車

タクシー

阪神「御影」駅より約15～20分

JR「六甲道」駅より約10～15分

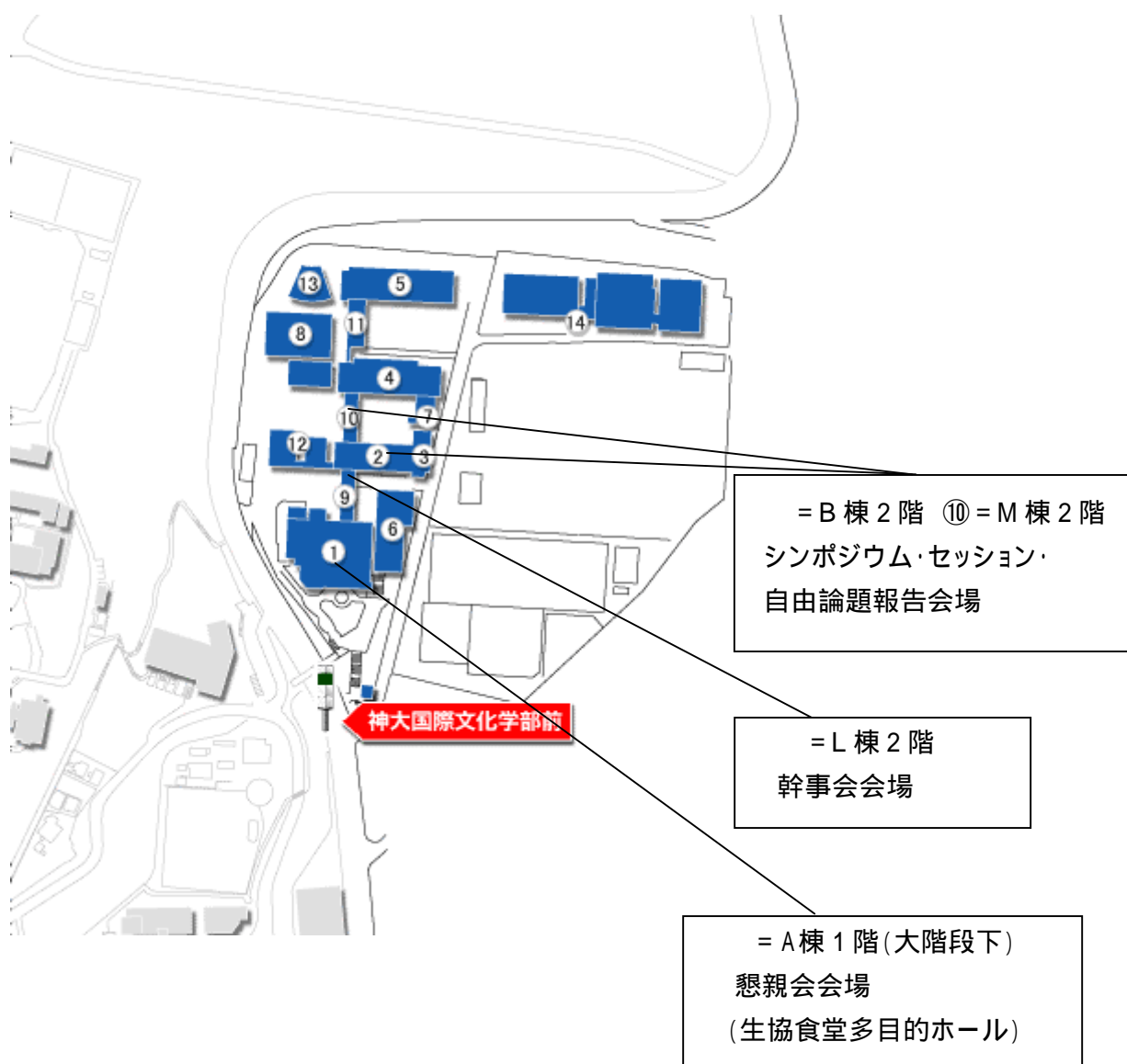
阪急「六甲」駅より約5～10分

神戸大学「正門」方面は法学部・経済学部・経営学部のキャンパスになります。「国際文化学部キャンパス」は「正門」からはかなり離れておりますので、ご注意ください。

大会連絡先

上野成利研究室

Tel : 078 - 803 - 7449 (直通)

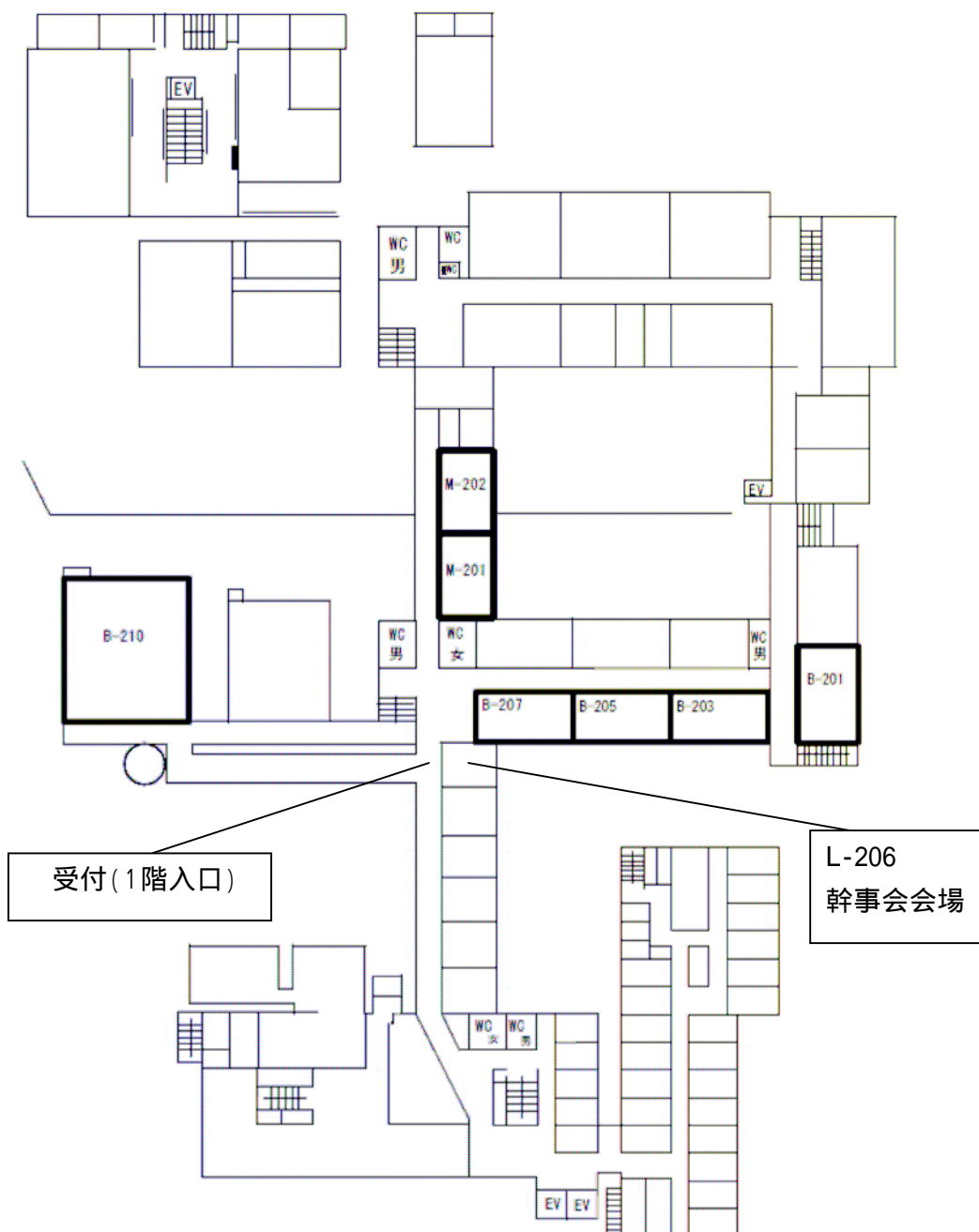


シンポジウム・総会会場 B - 210

自由論題報告・セッション会場 B - 203、B - 205、B - 207、M - 201、M - 202

会員控え室・幹事会企画セッション B - 201

2 階



教室利用表

10月30日(金) 幹事会 17:00 - 19:00 《L棟 206》

10月31日(土)

	B - 203	B - 205	B - 207	M - 201	M - 202	B - 201
09:00-11:00 セッション	A 政治思想 と文学	B 戦争と宗 教	C 自由主義 思想の射程	D 奨学金給 付の思想	E ハンナ・ア ーレントに おける政治	
11:10-11:55 自由論題報告	田村伊知朗 (平子友長)	沈恬恬 (初見基)	毛利智 (山田竜作)	仲田教人 (崎山政毅)		
12:30-13:20	総会 B - 210					
13:30-15:30 セッション	F 18・19 世 紀ドイツの 社会経済思 想	G ヒューム とスミス	H 政治哲学 の現在	I 女性的な るものと痛 み		J (幹) 社会 民主主義思想 の再検討
15:50-18:30	シンポジウム B - 210					

12:30 - 13:20 総会 B棟 210

18:45 - 20:45 懇親会 A棟1階(大階段下)生協食堂多目的ホール

11月1日(日)

	B - 203	B - 205	B - 207	M - 201	M - 202
10:00-10:45 自由論題報告	青柳雅文 (藤野寛)	荒井智行 (篠原久)	長濱一真 (梅森直之)	保坂直人 (中村勝己)	
11:10-11:55 自由論題報告	杉本隆司 (安武真隆)	白川俊介 (関谷昇)	西村木綿 (太田仁樹)	小野寺研太 (新村聡)	
14:00-16:00 セッション	K 制度の政 治思想史	L マルクス 主義の展開	M 「人間」 概念の変容 と生命倫理	N ヨーロッ パ啓蒙とア メリカ	O 20世紀への世紀 転換期における 「社会的なもの」 の想像

10月31日・11月1日両日

会員控え室 B棟 201

ただし、10月31日13:30～15:30は幹事会企画セッションに使用します。

2009 年度 社会思想史学会総会 議題

1. 議長選出

2. 報告事項

- (1) 入退会について
- (2) 第 34 回および第 35 回大会について
- (3) 本年度および次年度の年報について
- (4) 次期幹事・会計監事選挙について
- (5) その他

3. 審議事項

- (1) 2008 年度決算および会計監査報告
- (2) 2009 年度予算
- (3) 社会思想史学会著作権規定
- (4) その他

10月30日

17:00 - 19:00 幹事会 《L棟 206》

プログラム

10月31日

09:00 - 11:00 セッション 《B棟2階・M棟2階》

A 政治思想と文学 《B - 203》

世話人 堀田新五郎（奈良県立大学）・小田川大典（岡山大学）・森川輝一（名城大学）

司会 堀田新五郎（奈良県立大学）

報告者 小田川大典（岡山大学）「ジョージ・ケイティブ『インナー・オーシャン』を読む」

討論者 森川輝一（名城大学）

B 戦争と宗教 国家の創設をめぐって 《B - 205》

世話人 鳴子博子（中央大学法学部（非））

報告者 太田義器（摂南大学外国語学部）「オランダ反乱とグロティウスの主権論」

重森臣広（立命館大学政策科学部）「ホップズ戦争論をめぐって」（仮）

鳴子博子（中央大学法学部（非））「「フーコー権力論」批判からルソーの国家創設論を再考する 政治は戦争なのか？」

C 自由主義思想の射程 《B - 207》

世話人 森岡邦泰（大阪商業大学）

司会 太子堂正称（東洋大学）

報告者 原田哲史（四日市大学）・森岡邦泰（大阪商業大学）

D 奨学金給付の思想 社会思想史的課題としての「学生」 《M - 201》

世話人 仲田教人（早稲田大学政治学研究科博士課程）

報告者 入江公康（非常勤講師）・栗原康（非常勤講師）

E ハンナ・アーレントにおける政治 《M - 202》

世話人／司会 齋藤純一（早稲田大学）

コメンテーター 岡野八代（立命館大学）

阿部里加（一橋大学大学院社会学研究科博士課程）

報告者 長谷川陽子（北海道大学大学院文学研究科博士課程）

山本圭（名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士課程）

11:10 - 11:55 自由論題報告 《B棟2階・M棟2階》

初期ブルーノ・バウアーの純粹批判における社会的主体

その歴史的位相と後期近代的位相 《B - 203》

報告者 田村伊知朗（北海道教育大学）

司会 平子友長（一橋大学）

ベンヤミンの物 W・ベンヤミン『一九〇〇年頃のベルリンの幼年時代』を巡って 《B - 205》

報告者 沈恬恬（大阪大学大学院文学研究科）

司会 初見基（日本大学）

ハロルド・ラスキの未完の革命論と現代福祉国家 《B - 207》

報告者 毛利智（東京大学大学院総合文化研究科）

司会 山田竜作（日本大学）

横浜新貨物線反対運動の再検討 「革命」としての自治 《M - 201》

報告者 仲田教人（早稲田大学政治学研究科博士課程）

司会 崎山政毅（立命館大学）

11:55 - 12:30 昼食

12:30 - 13:20 総会 《B - 210》

13:30 - 15:30 セッション 《B棟2階・M棟2階》

F 18・19世紀ドイツの社会経済思想 《B - 203》

世話人 高柳良治(国学院大学・[名])・原田哲史(四日市大学)

報告者 松山壽一(大阪学院大学)・山口和子(岡山大学)

G ヒュームとスミス(スコットランド啓蒙思想研究) 『貿易の嫉妬』をめぐる 《B - 205》

世話人 篠原久(関西学院大学)

発題者 伊藤誠一郎(大月短期大学)

報告者 竹本洋(関西学院大学)

H 政治哲学の現在 《B - 207》

世話人 小田川大典（岡山大学）・井上彰（東京大学）・松元雅和（慶応大学）

司会 井上彰（東京大学）

報告者 松元雅和（慶応大学）「シティズンシップ論の現在」

芝崎厚士（駒澤大学、非会員）「帝国論の現在」

討論者 五野井郁夫（東京大学、非会員）

I 女性的なるものと痛み 《M - 201》

世話人／報告者 高原幸子（中京大学）

報告者 対馬美千子（筑波大学）

討論者 今村純子（慶応義塾大学）

J 社会民主主義思想の再検討 《B - 201》

世話人 崎山政毅（立命館大学）

司会 長尾伸一（名古屋大学）

報告 中山智香子（東京外国語大学）・山森 亮（同志社大学）

討論 鵜飼哲（一橋大学）・齋藤純一（早稲田大学）

15:50 - 18:30 シンポジウム 《B - 210》

社会的なもの の概念・再考

—— 政治的なもの ・ 文化的なもの との分割線を引きなおすために——

報告者 鷹茂（神戸大学）「コスモポリタニズムと社会・文化・政治

——G.ジンメルと世紀転換期の社会思想を手がかりにして」

木前利秋（大阪大学）「政治的判断力と文化的公共性

——「リスク文化」論とH.アーレントの判断力論を手がかりにして」

市野川容孝（東京大学）「社会的なもの と 政治的なもの のあいだ

——両者の接合に向けて」

司会 上野成利（神戸大学）・細見和之（大阪府立大学）

18:45 - 20:45 懇親会 《A 棟 1 階（大階段下）生協食堂多目的ホール》

11月1日

10:00 - 10:45 自由論題報告 《B棟2階・M棟2階》

全体性と超越 コルネリウスのカント理解と初期フランクフルト学派への影響に関する
思想史的研究 《B - 203》

報告者 青柳雅文（立命館大学）

司会 藤野寛（一橋大学）

デュガルド・スチュアートにおける道德哲学と「政治の科学」

推論の一般化命題とその「政治の科学」への適用との関連をめぐって 《B - 205》

報告者 荒井智行（中央大学大学院経済学研究科博士後期課程）

司会 篠原久（関西学院大学）

「昭和十年前後」のドレフュス革命と知識人 《B - 207》

報告者 長濱一真（大阪府立大学大学院）

司会 梅森直之（早稲田大学）

主体の解放に向けた時間意識の検証

真木悠介とアルベルト・メルッチにおける時間論の比較 《M - 201》

報告者 坂坂直人（東京学芸大学連合大学院連合学校 配置大学：埼玉大学）

司会 中村勝巳（中央大学）

11:10 - 11:55 自由論題報告 《B棟2階・M棟2階》

バンジャマン・コンスタンのカトリック＝ロマン派宗教史批判 《B - 203》

報告者 杉本隆司（一橋大学社会学研究科研究員）

司会 安武真隆（関西大学）

国際政治思想における論争軸の位相転換に向けて

コスモポリタニズムとコミュニタリアニズムの架橋 《B - 205》

報告者 白川俊介（九州大学大学院比較社会文化学府博士課程）

司会 関谷昇（千葉大学）

「文化的民族自治」論の系譜——ユダヤ人「ブンド」における民族理論の形成を中心に 《B - 207》

報告者 西村木綿（京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程）

司会 太田仁樹（岡山大学）

市民社会論と戦後日本の思想史研究 《M - 201》

報告者 小野寺研太（東京大学大学院総合文化研究科博士課程）

司会 新村聡（岡山大学）

14:00 - 16:00 セッション 《B棟2階・M棟2階》

K 制度の政治思想史 連邦制の政治思想 《B - 203》

世話人 太田義器（摂南大学）・安武真隆（関西大学）

司会 太田義器（摂南大学）

報告者 小田川大典（岡山大学）「石川敬史『アメリカ連邦政府の思想的基礎』を読む」
安武真隆（関西大学）「遠藤泰弘『オットー・フォン・ギールケの政治思想』を読む」

討論者 犬塚元（群馬大学）・石川敬史（東京理科大学）・遠藤泰弘（松山大学）

L マルクス主義の展開 《B - 205》

世話人 太田仁樹（岡山大学）

報告者 平子友長（一橋大学）

討論者 橋本直樹（鹿児島大学）

M 「人間」概念の変容と生命倫理 《B - 207》

世話人／司会 高草木光一（慶應義塾大学経済学部）

報告者 松村外志張（株式会社ローマン工業細胞工学センター）

討論者 土井健司（関西学院大学神学部）

川口有美子（立命館大学大学院博士課程、日本ALS協会）

N ヨーロッパ啓蒙とアメリカ 《M - 201》

世話人／報告者 田中秀夫（京都大学経済学研究科）

討論者 佐々木武（東京医科歯科大学名誉教授・法政大学）

O 20世紀への世紀転換期における「社会的なもの」の想像 《M - 202》

世話人 平石耕（早稲田大学）

報告者 馬路智仁（東京大学大学院博士課程）「アーノルド・トインビーの『急進的社會主義』論の思想史的再検討」

コメンテーター 田中ひかる（大阪教育大学）

学会事務局からの連絡とお願い

本年度大会プログラム、大会報告集、2009 年度年報（第 33 号）をお送りいたします。ただし、会費を現段階で 18000 円以上滞納しておられる方には、年報の送付を一時停止させていただいています。また、大会参加確認用葉書、大会懇親会および弁当注文用振込用紙も共に発送させていただきます。

印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接ご持参ください。受付では一切のコピーをいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。

大会報告集およびプログラムのホームページ掲載

本年度も大会報告集を PDF 形式で学会ホームページに公開しております。その他、大会に関する最新情報も学会のホームページで公開しております。

社会思想史学会のホームページは <<http://wwwsoc.nii.ac.jp/shst/>> です。

大会開催校からの連絡とお願い

印刷物の配布について

大会中、報告等で印刷物の配布をされる方は、各自製作の上、報告会場まで直接ご持参ください。期間中、受付では一切のコピーをいたしません。

懇親会について

10月31日(土)の懇親会は午後6時45分より、神戸大学国際文化学部キャンパス・A棟1階(大階段下)生協食堂多目的ホールにて開催されます。懇親会費は5000円です。参加される方は大会参加確認用葉書の該当箇所をチェックの上、10月15日までにご投函ください。また代金は以下の大会開催校の郵便貯金口座に、同封した振込用紙で10月5日までにご入金ください。

郵便振替口座

口座番号：00170 - 7 - 426565

名義：社会思想史学会 全国大会開催校

昼食(弁当予約)について

ご希望の方には開催校側で10月31日(土)と11月1日(日)の昼食用として弁当をご用意いたします。価格は各1000円(税込み)です。ご希望の方は振込用紙の通信欄の該当箇所をチェックし、合計金額を上記の口座に、同封した振込用紙で10月5日までにご入金ください。なお、大学近辺には食堂がほとんどございませんのでご注意ください(10月31日(土)は生協の食堂が開いています)。

* したがいまして、「社会思想史学会 全国大会開催校」への振込金額は、
1000円(1食のみ、懇親会不参加) 2000円(2食のみ、懇親会不参加)
5000円(弁当なし、懇親会参加希望) 6000円(1食、懇親会参加希望)
7000円(2食、懇親会参加希望)のいずれかになります。

社会思想史学会 第34回大会 (2009年10月31日・11月1日 於:神戸大学)

目次

シンポジウム

社会的なものの概念・再考

—— 政治的なもの・文化的なものとの分割線を引きなおすために——

セッション

A 政治思想と文学

B 戦争と宗教 国家の創設をめぐる

C 自由主義思想の射程

D 奨学金給付の思想 社会思想史的課題としての「学生」

E ハンナ・アーレントにおける政治

F 18・19世紀ドイツの社会経済思想

G ヒュームとスミス(スコットランド啓蒙思想研究)

H 政治哲学の現在

I 女性的なるものと痛み

J 社会民主主義思想の再検討

K 制度の政治思想史 連邦制の政治思想

L マルクス主義の展開

M 「人間」概念の変容と生命倫理

N ヨーロッパ啓蒙とアメリカ

O 20世紀への世紀転換期における「社会的なもの」の想像

自由論題報告

初期ブルーノ・パウアーの純粹批判における社会的主体 その歴史的位相と後期近代的位相

報告者 田村伊知朗

ベンヤミンの物 W・ベンヤミン『一九〇〇年頃のベルリンの幼年時代』を巡って

報告者 沈恬恬

ハロルド・ラスキの未完の革命論と現代福祉国家

報告者 毛利智

横浜新貨物線反対運動の再検討 「革命」としての自治

報告者 仲田教人

全体性と超越

コルネリウスのカント理解と初期フランクフルト学派への影響に関する思想史的研究

報告者 青柳雅文

デュガルド・スチュアートにおける道德哲学と「政治の科学」

推論の一般化命題とその「政治の科学」への適用との関連をめぐって

報告者 荒井智行

「昭和十年前後」のドレフュス革命と知識人

報告者 長濱一真

主体の解放に向けた時間意識の検証

真木悠介とアルベルト・メルッチにおける時間論の比較

報告者 保坂直人

バンジャマン・コンスタンのカトリック＝ロマン派宗教史批判

報告者 杉本隆司

国際政治思想における論争軸の位相転換に向けて

コスモポリタニズムとコミュニタリアニズムの架橋

報告者 白川俊介

「文化的民族自治」論の系譜——ユダヤ人「ブンド」における民族理論の形成を中心に

報告者 西村木綿

市民社会論と戦後日本の思想史研究

報告者 小野寺研太